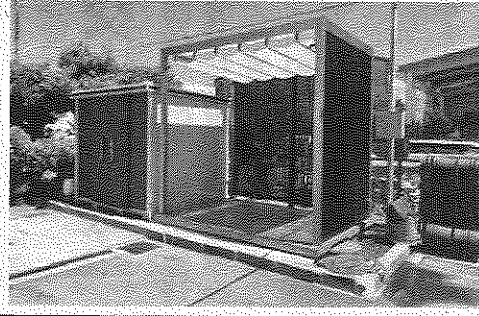


吸わない人に良い環境へ

サイショウエクス

加熱式のみ 喫煙スペース設置



加熱式たばこのみ喫煙できる休憩スペース

【東京】サイショウ・エクスプレス(斎藤敦士社長、東京都江東区)は、社員の喫煙対策に力を入れていく。将来的に喫煙者をゼロにするため、「吸わない人にとって、より良い環境に

すべき」という方針の下、2021年夏、敷地内の屋外に休憩所を設け、たばこは加熱式のみ喫煙できるようにして、禁煙に向けた環境を整えている。

同社はかねて健康経営を推進してきた。18年1月に全車禁煙をルーブル化した。が、徹底が図られなかったため、19年秋に敷地内を全面禁煙にした。ただ、敷地の外で喫煙する社員が増えたため、その対策と、禁煙対応が難しい社員へのステップとして紙たばこから加熱式たばこへの移行を推奨するため、加熱式のみ喫煙できるスペースを設置。併せて、喫煙者を対象に講習も行った。

その上で、灰皿を各自持参することにして共用の灰皿を設置しなかった結果、ゴミが減り、一部の社員が灰皿を掃除するという不公平さもなくなったという。また、喫煙者の服に付き、

事務所内に持ち込まれるたばこの臭いも解消。「吸わない人にとってより良い環境づくり」につながっている。

現在、加熱式への移行の次の対策として「全車両禁煙」をPRするステッカーも作製している。同社では、今後は喫煙者を採用しない方針を取っており、現在30%の喫煙率を将来的にゼロにすることを目指している。

証を求めている。現状では金額ペー準がなく、100万の不足金が出る組合でも、超過分が30%あれば、追加保証はれなかった。今回のより、通行料金の合が保証金を30%上回るとともに、100%上の超過に対しても員への追加保証を求るようになる。

「追加保証」求めやすく

関運協 カード利用規程を改正

【東京】関東運送事業協同組合(水野功理事長)は3日の理事会で、ETC(自動料金収受システム)コーポレートカード利用規程の一部改正などを行った。

現在、406組合員。21年度上期の高速道路後納事業の取扱高は、前年同期比6%増だが、19年度との比較では2・4%減になる。会

社別にみた上期通行料は、NEXCOが約82億円、首都高速道路などは13億円、全体の還元額は30億円だった」と報告した。

更に、法令順守状況について「17年度、車両制限令に違反した組合員は55社で、69件あった。順守に向

けた活動の結果、20年度は7社8件となり、21年度はこれまでに1社1件に減少している」と説明し、各地方指導部での活動に感謝を示した。

ETCコーポレートカード利用規程の改正では、高速道路通行料金の後納事業での追加保証金・預託金の算出方法を変更した。従来の規程では、3カ月間の合計通行料金が保証額の30%を超える場合のみ、追加保

証を求めている。現状では金額ペー準がなく、100万の不足金が出る組合でも、超過分が30%あれば、追加保証はれなかった。今回のより、通行料金の合が保証金を30%上回るとともに、100%上の超過に対しても員への追加保証を求るようになる。

(面担 明)

入間地区トラ協組

標準的運賃 届け出促進

機運もり上げ次の施策へ

【埼玉】入間地区トラック事業協同組合(青山定雄理事長)は、勉強会を開くなどして、全組合員が標準的な運賃を届け出るように

の待遇改善が進んでいない今の状況を踏まえ、業界の魅力を向上させ、新人が入ってきやすくすることで、運送の事業継続につなげ

協同組合連合会の会長も務める。「連合会としても、各地域に取り組みを進めるよう求めている」と話し、

県内の事業協組全体では県

開始前に、厄を移す形代を1人1枚ずつ配布。祝詞が読み上げられ、長岡市の

が、やっと顔を合わとができた。初めてンバーも多く、緊張「と改めて支部長報告した。

その上で、「トラ

(佐々)

(辻本亮平)

学校では待ち時間があることも多い。ポスターが目に入り、トラック運送に興味を持ってもらえれば」としている。

るのが、経営者だけでなく、各社の実務者も増えていくと予想。このため、会合などは実務者の業務と重なる時間帯を避けるように変更した。地域での横のつながりも大切にする。担当者は「組合

来年の無事故・無災害祈る

【新潟】新潟県トラック協会の長岡支部(金子正孝)が、12月31日、長岡市の

が、やっと顔を合わとができた。初めてンバーも多く、緊張「と改めて支部長報告した。